

# 平成25年度予算決まる

小さくてもキラリと光る  
誇りと活力に満ちた  
ふるさと勝山の実現

## 予算総額 193億8,430万円

一般会計	115億 662万円
特別会計	72億7,402万円
企業会計	6億 366万円

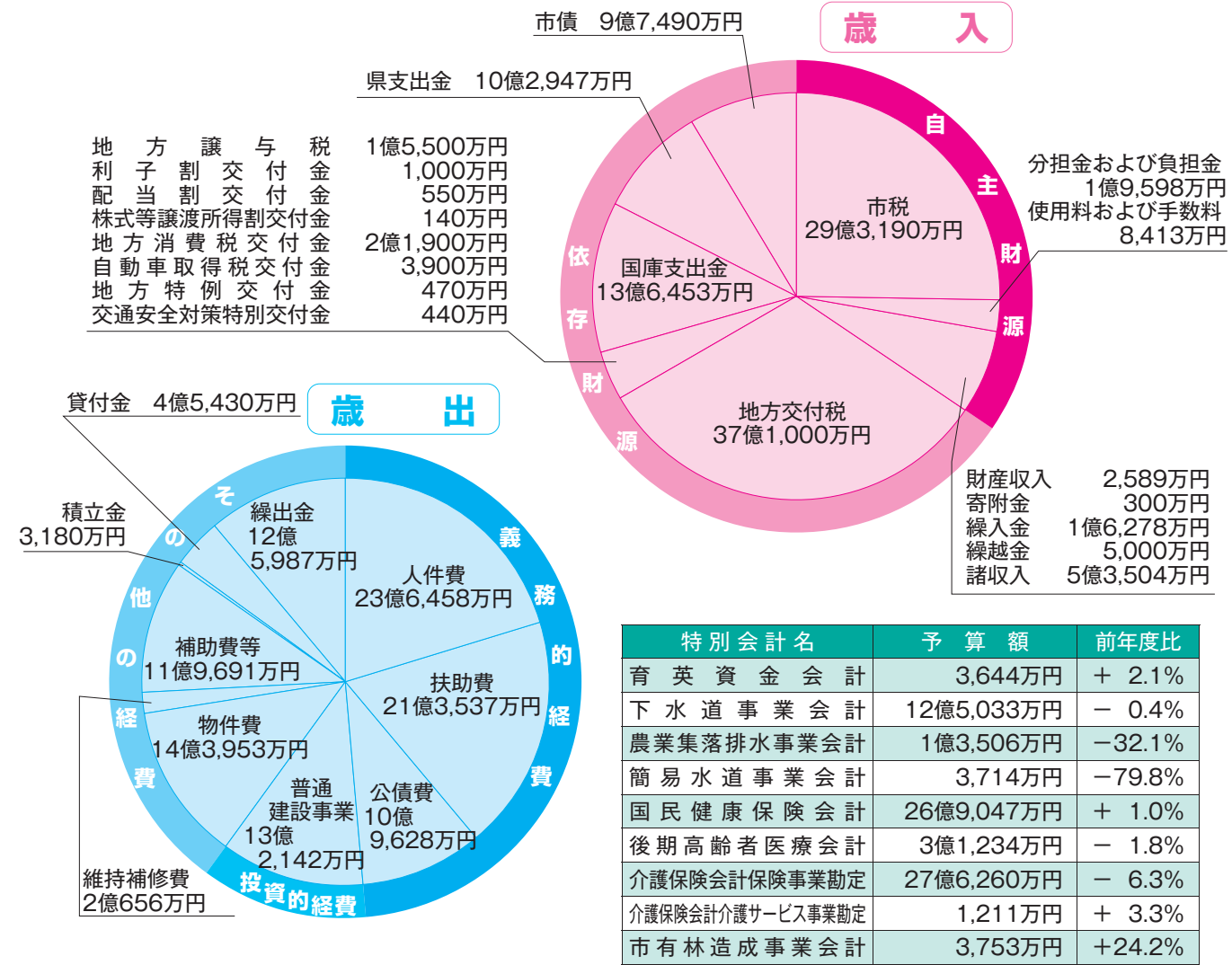
- ・市民の長年の願望である新体育館の建設に着手する
- ・「エコ環境都市かつやま」のさらなる魅力アップを図る

勝山市では、国が示した日本経済再生のための緊急経済対策による大型補正予算を活用し、平成24年度3月補正予算で新体育館整備等の大型プロジェクト事業を前倒しして進めます。平成25年度当初予算は、この補正予算と一体的に編成しました。

一般会計予算規模は  
過去4番目  
国の補正予算を活用し、平成24年度3月補正予算として前倒しした公共事業費（約9億9,500万円）を加えた予算総額は、約125億1,000万円（前年度比5.5%の増、金額にして約6億5,300万円の増）で、過去4番目の規模となりました。  
各特別会計と上水道企業会計を含めた予算総額は、19億3,430万円で、前年度比0.5%の減（金額にして約9,600万円の減）となりました。

歳入は地方交付税が減額  
歳入予算では市民税、固定資産税をほぼ前年度並みとし、税率改正により市たばこ税を約3,000万円増額で見込みました。市税全体では前年度比約3,300万円の増額です。  
また、地方交付税は、国の地方財政計画において減額となったことを受け、当市の普通交付税を前年度比1億1,600万円の減額としました。  
一般財源の減取等による収支不足に対応するため、財政調整基金から約1億3,200万円を繰り入れます。

歳出予算の特徴  
歳出予算では、人件費が前年度比職員7人減員で約1,700万円の減額となりました。児童、障害者、高齢者、生活保護関係などの扶助費は約21億3,500万円で前年度比2.9%の増（金額で約6,100万円の増）となりました。  
普通建設事業費は当初予算と平成24年度3月補正として前倒しした約9億9,500万円を合わせて約23億1,600万円となります。  
主な建設事業としては、市民交流センター（旧地場産業振興センター）改修に1億9,386万円、新体育館建設事業に6億8,838万円を計上しました。  
その他、物件費は嘱託・臨時職員賃金、委託料の増額と旅費・需用費等の減額を合わせて前年度比1%の増（約1,500万円の増）、補助費等が前年度比0.6%の減（約700万円の減）となりました。



特別会計名	予算額	前年度比
育英資金会計	3,644万円	+ 2.1%
下水道事業会計	12億5,033万円	- 0.4%
農業集落排水事業会計	1億3,506万円	-32.1%
簡易水道事業会計	3,714万円	-79.8%
国民健康保険会計	26億9,047万円	+ 1.0%
後期高齢者医療会計	3億1,234万円	- 1.8%
介護保険会計保険事業勘定	27億6,260万円	- 6.3%
介護保険会計介護サービス事業勘定	1,211万円	+ 3.3%
市有林造成事業会計	3,753万円	+24.2%

## 勝山さんちの家計簿

例えば年収を300万  
(月収25万円)とすると…

収入	
平成25年度予算 (一般会計性質別内訳)	1か月の家計に例えると
市税などの自主財源 39億8,872万円	給料・パート収入 25万円
地方交付税、国・県支出金等 65億4,300万円	両親からの仕送りなど 41万1,100円
市債発行 9億7,490万円	各種ローンの借入 6万1,100円
収入計 115億662万円	収入計 72万1,200円

支出	
平成25年度予算 (一般会計性質別内訳)	1か月の家計に例えると
繰出金・補助費・出資金・貸付金 など 29億1,108万円	子どもへの仕送り・各種会費 など 18万2,500円
人件費 23億6,458万円	食費 14万8,200円
扶助費 21億3,537万円	医療費 13万3,800円
普通建設事業・維持補修費 15億2,798万円	車の購入・自宅の増改築・修繕費 9万5,800円
公債費 10億9,628万円	ローン返済 6万8,700円
物件費 14億3,953万円	光熱水費・被服費等 9万200円
積立金 3,180万円	新たな預貯金 2,000円
支出計 115億662万円	支出計 72万1,200円

